

『子宮頸癌に対する Bevacizumab を併用した術前化学療法の有効性の調査』

へのご協力をお願い

1. 研究期間

倫理委員会承認後(2021 年 2 月 25 日)～2023 年 5 月 31 日

2. 対象となる方(下記全てを満たす患者さま)

2016 年 6 月 1 日から 2019 年 5 月 31 日までの間に、子宮頸癌の手術の前に抗癌剤治療をされた患者様を対象とし、その中でも TC 療法(パクリタキセル・カルボプラチン)または、それに Bevacizumab(アバスタチン)の併用治療を受けられたかた。

3. 研究の目的・方法

子宮頸癌の NACT として、従来の TC 療法と比較し、TC 療法+アバスタチンの併用療法を使用した場合の予後や治療効果について評価します。

下記の情報をカルテより収集させていただきます。

- 1) 研究対象者背景:性別、生年月、年齢、研究対象者識別コード、身長、体重、妊娠歴
- 2) 原疾患:組織診の病理検査結果
- 3) 既往歴(子宮頸癌の加療までに治癒した疾患)及び、併存症
- 4) 手術関連(術式、術中所見、手術完遂度)
- 5) 術前及び術後化学療法(抗がん剤の種類、実施投薬回数)
- 6) 治療反応性・予後(術前化学療法前後のMRI画像所見、治療経過の腫瘍マーカーの推移)
有害事象の有無

4. 二次利用について

本研究で得られた情報は、医学の発展にともなって将来計画される別の研究に使わせて頂く可能性があります。その場合は改めて倫理委員会に申請し、許可を得たうえでを行います。

5. お問い合わせ先

本研究についてご質問がありましたら、下記連絡先までお問合せ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、患者様が特定できる情報(患者様氏名・カルテ番号)については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合はお申し付け下されば情報利用することを停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたの不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

なお、本研究は近畿大学医学部 倫理委員会の審査を受け、近畿大学医学部長の許可を受けて実施するものです。

住所:大阪府大阪狭山市大野東 377-2

TEL:072-366-0221(内線:3215)

お問い合わせ担当:近畿大学病院産婦人科
中井 英勝

6. 研究組織

研究代表者

関西医科大学附属病院 横江 巧也

近畿大学研究責任者

近畿大学医学部産科婦人科学教室 松村 謙臣